

摂津市医師会 ― 健都:現状と今後への期待

(1) 健都の現状についての所感

摂津市民にとって従来よりアクセスがよくなり、真新しい施設となった国立循環器病研究センターと吹田市民病院への患者さんの関心や期待が大きいことを実感している医師会員が多い。患者さんから紹介希望があったなどの声があった。一方、医療モールを含め他の(医療・介護)施設については吹田市に属することもあり今のところ関心は薄いようで、情報を持っている医師会員はほとんどいなかった。

(2) 今後の期待と取り組みの方向性

国立循環器病研究センターと吹田市民病院の両病院とは本会議を含め事前の顔合わせもあり、所属の先生方には移転前から医師会主催の講演会に演者として来て頂いたり、医師会雑誌に論文を投稿頂いたり、あるいは摂津市のプロジェクトでもご指導頂いたりすることがあり、順調に病診連携が進み始めている。今後より一層、患者さんの利便性や流れにそって連携を深めていけるものと考えている。異なる二次医療圏に属する両市ということで、地域医療構想の進め方とは多少の軋轢も出てくるが、実際の患者さんの流れにそって解決していきたい。

一方、診診連携や医療介護連携については現在のところ白紙状態である。吹田市に所属するケアマネージャーなどの介護職や介護施設を利用する摂津市民は健都地域を含め今後さらに増加するものと思われる。これらは原則的に一次医療圏(市町村単位)で調整することとなっており、研修会や連携シート、コーディネータなどを通じて市内での連携は比較的良好なものとなっている。健都は市域を超えた医療介護連携のモデルとなるかもしれない。今後、患者さんの流れを見た上で、連携の方法を模索していきたい。

(3) 摂津市の事業に協力しているプロジェクト(詳細は摂津市より)

国立循環器病研究センター: STOP MI キャンペーン

国立健康・栄養研究所: フレイル予防プログラム